

大石祥一後援会便り

第30号



新年「あけましておめでとう」

皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中に賜りましたご支援・ご指導に感謝申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスの為に、自身を守る生活を余儀なくされました。

そして、新しい生活様式やウィズコロナ・アフターコロナと言った時代への対応も考えさせられた一年でありました。

今年も、しばらくは、このような生活が続くと思われませんが、楽しみは後に取っておき今は、引き続き感染防止策（「手洗い」「マスク」「消毒」「換気」「3密（密閉・密集・密接）」の回避」「体調の悪い方は外出を控える」）に取り組み、見えない敵と戦い身を守っていきましょう。

結びに、引き続き、「皆さまの声」を大切にし、大分市の発展、皆様の安全・安心、更には市民生活の向上に、より一層の精進を重ねて参ります。



3期目への挑戦！

この度、日本製鉄大分労組・関連協・各労組からのご推薦、また、地域の多くの方々よりご支援を頂き、3期目への挑戦を決意しました。

- ①「働く者・生活者の立場に立った政策の推進」
- ②「産業の振興を軸とした更なる地域の発展」
- ③「健やかでいきいきと暮らせるまちづくり」
- ④「活気と魅力がふれる大分市づくり」

の、4つを公約に掲げ、「皆さまの声」を大切にしながら諸活動を進めて参りました。

特に、私たちが暮らす大分市も、人口減少社会へと転換する中、「人口減少社会がもたらす産業への影響」について調査・研究を行う中、多くの方からのご意見・ご要望を踏まえ「待機児童ゼロ」に向けて、大分市の対応を追求するなど積極的に取り組んだ結果、3年かかりましたが、2020年4月に「待機児童ゼロ」となり、公約の観点から一定の成果を得ることが出来ました。

しかしながら、待機児童については、まだまだ課題がありま

すので、引き続き、行政に対して意見提起して参ります。

3期目に向けて！

3期目に挑戦するにあたり、私は、これまでの4つの公約を軸に、「ICT環境」の整備に尽力したいと考えています。

私は、ICTの推進は、市民生活の向上に繋がると考えています。ICT環境の整備が遅れていると考えると、大分市は「ICT環境」の整備が遅れていると考

例えば、スマホやパソコンで行政手続きが出来れば、感染症の中、窓口に向く必要はありません。そして、車等の移動手段を持たない方々においては、安全・安心を確保したうえで、公共交通機関等に対し、自動運転技術を導入する事で交通手段の確保ができ、高齢者の免許返納や事故防止、外出の機会も増えコミュニケーションも図られます。

一部の例ですが、ICT化は、私たちの暮らしに多くの可能性をもたらしてくれると確信しています。

引き続き、「働く者・生活者の代弁者として、民間ものづくりの代表として」皆様の声を市政に反映させていく所存であり

粉骨碎身努力していく覚悟であります。皆さま方の変わらぬご支援・ご指導、どうぞよろしくお願い申し上げます。

補正予算の状況

第3回及び第4回定例会での補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策として引き続き着手する必要がある取り組みに対して編成されました。

感染症関連予算は

一般会計予算の内、新型コロナウイルス感染症関連に当たる予算は、44億7223万円。内訳は次の通り

- ▼PCR検査拡充事業（だ液により検査できる機器の購入）
- ▼小規模事業者競争力支援事業補助金（売上減による家賃補助等）
- ▼感染症対策機器導入支援補助金（サーモグラフィ等の非接触体温検知装置購入補助）
- ▼超高速ブロードバンド整備事業（ブロードバンド未整備地域への対応【自宅学習等対応】）
- ▼教育用ICT環境整備事業（小中学生に一人一台の教育用タブレット端末を購入。iPad端末、34000台購入。）

▼初期緊急医療体制整備費補助金（年末年始当番医補助金）

▼漁業者事業継続支援事業（収入減の漁業者に対して燃料費を補助）

▼教育用ICT環境整備（臨時休業などの非常時に自宅で学習環境のない児童生徒に貸し出すモバイル・ルーター購入費。）

祥ちゃんメモ

【中心市街地駐輪場整備】

自転車等駐輪場整備計画に基づき中心市街地の各エリア（中央町、府内町、大分駅周辺）に駐輪場の整備が進められてきました。

今回、祝祭の広場に駐輪場を整備し、中心市街地全域において収容台数4195台を確保されました。

また、同時に自転車放置禁止区域も拡大されます。（区域図赤部分・4月より）



中心部の自転車放置禁止区域図

【おおいた子育て

ほっとクーポン券利用拡大

令和3年4月より、おおいた子育てほっとクーポンサービス券の利用対象が拡大され、紙おむつやミルクの購入が出来るようになりました。

活動紹介

▼必勝！決起集会

令和2年9月18日、日本製鉄大分労組第54回定期大会終了後、令和3年2月市議選に向けた「必勝決起集会」を開催していただきました。



決意表明の述べる様子

▼第42回おおいた交通安全フェア

令和2年9月26日、祝祭の広場にて、市民における交通安全意識の高揚や交通事故防止の徹底を図ることを目的に開催され、市議会を代表して、交通安全等のお願いを含め祝辞を述べさせていただきました。



開会式で来賓祝辞を述べる様子

▼遠隔自動運転バス試乗

令和2年11月19日、宗麟大橋く府内大橋間の河川敷で遠隔自動運転バスに試乗しました。

運転席に運転手が座らず、バスの内外に取り付けられたカメラやGPS・センサー等最新の技術を駆使、遠隔自動操作で運行します。乗り心地は通常運転と変わらず技術力の高さを感じました。

自動運転技術は、車等の移動手段を持たない方々の移動手段の確保や、更には公共交通機関の運転手不足への対応など、地域公共交通の課題解決に役立つと考えます。



上段：試乗後にバスの前で
下段：走行中の運転席の様子



▼令和2年第4回大分市議会定例会（特別委員長報告）

定例会最終日、平成31年から総合交通対策特別委員会を取り組みました、「交通体系及び公共交通並びに交通安全対策に関する調査・研究」と、要望事項を取りまとめ、報告しました。



委員長報告する様子